



花巻市博物館特別展 「大正イマジュリィの世界」を開催します

多彩な大衆文化が隆盛した大正から昭和初期にかけて、日本では印刷技術の革新を背景に出版文化が発展しました。藤島武二、橋口五葉、竹久夢二ら当時新しい表現方法を模索していた画家たちも、同時代の美術界の動向と並行しながら、独自の表現を生み出し、人々の心をとらえました。やがて杉浦非水をはじめとするグラフィックデザイナーが誕生し、モダンデザインに大きな影響を及ぼしました。

本展では、この頃に登場した書籍の装幀や挿画、ポスター、絵はがきなど大衆的な複製図像を、イメージ図像を意味するフランス語「イマジュリィ (imagerie)」と総称して紹介します。

当時の人々を魅了し、日常に美を添えてきたイマジュリィは、現代のデザインやイラストレーションの原点といえます。モダンでユニーク、おしゃれでかわいい、魅力的な大正イマジュリィの世界をお楽しみください。

1 特別展の概要

- 期 間 9月12日(土)～11月23日(月・祝)
(休館日：月曜日 ※祝・振替休日の場合は翌平日)
- 時 間 午前9時～午後4時30分
- 場 所 花巻市博物館 企画展示室
- 入館料 通常料金で観覧できます。
一般350円／高校生・学生250円／小・中学生150円
※20名以上の団体は、上記金額から50円引きとなります。

■内 容

第1部 大正イマジュリィの芸術家たち

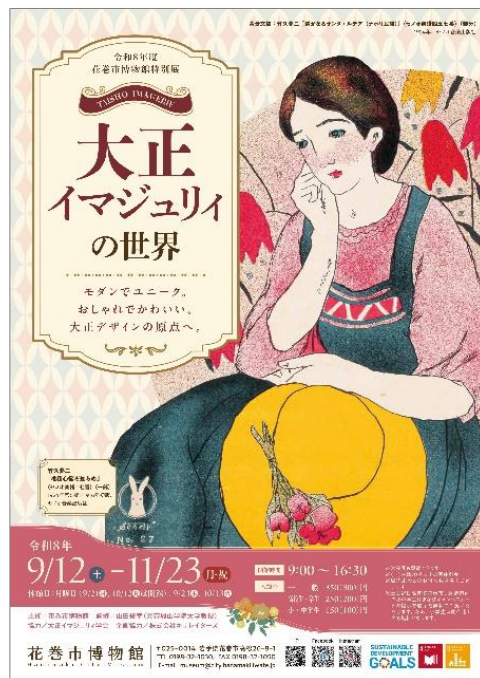
大正時代の出版文化の発展において、重要な役割を果たした作家たちの作品をご紹介します。卓越した意匠・図案感覚で近代日本における大衆的な出版物デザインの世界を切りひらいた藤島武二、杉浦非水、橋口五葉をはじめ、物憂げな美人像で一世を風靡した竹久夢二など、個性豊かな作家たちによるイマジュリィの競演に注目です。

第2部 様々な意匠 (イマジュリィ)

大正時代には、哲学者アンリ・ベルグソンによって提唱された「エラン・ヴィタル」という概念が広まり、個人の創造性が重視されるようになっていきます。

「エラン・ヴィタル」には「生命には創造的に進化する衝動が備わっている」といった意味合いがあり、芸術家たちの自己表現に大きな影響を与えたと言われています。

「エラン・ヴィタル」の概念を視覚化した作品、浮世絵へのオマージュが見て取れる作品、童画、怪奇趣味の作品など、多様な大正イマジュリィの世界をご紹介します。



2 関連イベント

◇記念講演会「大正イマジュリィの魅力」

講 師：永山多貴子氏 (郡山市立美術館 館長)
日 時：9月27日(日) 13時30分～15時
場 所：花巻市博物館 講座・体験学習室
定 員：先着30人 (要申込、聴講無料)

◇ワークショップ

「大正イマジュリィなブックカバーづくり」

日 時：9月19日(土) 13時30分～15時
場 所：花巻市博物館 講座・体験学習室
定 員：先着15人 (要申込)
参加費：500円

◇ワークショップ「成島和紙の飾り紙箱づくり」

講 師：赤津有美氏 (和しごとラボラトリー百花)
日 時：11月7日(土) 13時30分～15時
場 所：花巻市博物館 講座・体験学習室
定 員：先着20人 (要申込)
参加費：1,000円



ホームページ